



平成 19 年 4 月 26 日

各 位

上場会社名 株式会社 JMS
 代表者名 代表取締役社長 谷光 大
 (コード番号 7702 東証第1部)
 問合せ先 取締役経営管理統括副統括部長 奥窪 宏章
 TEL 082-243-5844

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 11 日に発表しました平成 19 年 3 月期通期業績予想の修正並びに特別損失の計上につき、下記のとおりお知らせします。

記

1. 業績予想の修正

平成 19 年 3 月期通期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

【連結】

(単位 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	43,500	1,550	800
今回修正予想 (B)	43,056	886	91
増減額 (B-A)	△ 444	△ 664	△ 709
増減率 (%)	△ 1.0	△ 42.8	△ 88.6
(参考) 前期実績	41,425	1,319	774

【個別】

(単位 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	36,500	1,130	530
今回修正予想 (B)	34,739	530	△ 86
増減額 (B-A)	△ 1,761	△ 600	△ 616
増減率 (%)	△ 4.8	△ 53.1	—
(参考) 前期実績	34,375	689	464

2. 修正の理由

【連結】

当期における連結の業績は、連結子会社における販売は総じて好調であったものの、連結財務諸表提出会社（当社）の業績予想が売上高、利益ともに下方修正となったため、連結においても当期の売上高、利益が予想を下回る見込みです。

【個別】

当期における業績は、薬価の大幅な引き下げや競争激化に伴う販売価格の下落などにより売上高が予想を下回ったことに加え、財務の健全化を図るため将来のリスクが懸念される棚卸資産、固定資産、出資等の減損（評価減、除却、引当など）を行ったこと、及び役員退職慰労金の引当金計上を行ったこと等により、売上高、利益ともに当初の業績予想を下回る見込みです。

3. 特別損失の計上

当社は役員退職慰労金を支出時の費用として処理しておりましたが、当期より内規に基づく期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上することとし、平成19年3月期個別決算におきまして、過年度分159百万円を特別損失に計上いたします。

これは、当期において役員退職慰労金に係る内規等社内規定が整備されたこと、また、近年の役員退職慰労金の引当金計上が会計処理として定着しつつあることを踏まえたものです。

また、上記のほか、薬事法改正に伴う旧包装材料廃棄費用56百万円、清算予定であるジェイ・エム・エス・ドゥ・ブラジルLTDA.に係る子会社株式評価損106百万円、その他特別損失164百万円の合計485百万円を特別損失に計上しております。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき仮定したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく変動する可能性があることをご承知おきください。

以上